

聖書メッセージ あえてリスクを取る生き方

伝道者の書 11章 1～6節

- 1 あなたのパンを水の上に投げよ。
ずっと後の日になって、あなたはそれを見出す。
- 2 あなたの受ける分を七、八人に分けておけ。
地上でどんなわざわいが起こるかをあなたは知らないのだから。
- 3 濃い雲が雨で満ちると、それは地上に降り注ぐ。
木が南風や北風で倒れると、その木は倒れた場所にそのまま横たわる。
- 4 風を警戒している人は種を蒔かない。雨雲を見ている人は刈り入れをしない。
- 5 あなたは妊婦の胎内の骨々のことと同様に、
風の道がどのようなものかを知らない。
そのように、あなたは一切を行われる神のみわざを知らない。
- 6 朝にあなたの種を蒔け。夕方にも手を休めてはいけない。
あなたは、あれかこれかどちらが成功するのか、
あるいは両方とも同じようにうまくいくのかを知らないのだから。

あえてリスクを取る生き方

伝道者の書11章1～6節より 2021/11/21

I. あなたのパンを水の上に投げよ = あえてリスク(潜む危険性、回避できる危険性)を取る

1. リスクを伴わない人生はない (アメリカのCM)

今日が人生最後の日かもしれない。

だれからも好かれる(評価される)ことはできない

バプテスマのヨハネ、ステパノ、ヤコブ(ヨハネの兄弟)

「黙っていればよかったのに…」

運命の地、カデシュ・バルネア 民数記13章

12人の斥候 豊穡の地(「乳と蜜の流れる地」)

巨人が住む(「自分たちはバッタのようだ」)

安全策をとり、40年間荒野を放浪(毎日同じ食事=マナ)

エジプトを出て約束の地には入れたのは二人だけ!

2. 聖書の言う通り、神がすべてを支配しておられることを信じる



究極の安全策(フランシス・チャン)



エシュコルのぶどう?

II. 人にはどうにもできないことがある = 起ころうとすること、起きたこと

1. 濃い雲が雨で満ちている、と分かっても人には止められない

来ると分かっている不幸な出来事を止めることができない

2. 大木が倒れた。起きてしまったことをもとには戻せない

悔やんでもどうにもならない。現状を受け入れて再出発するしかない。



倒れたものをもとにはもどせない

III. それでも前に進むべきである = リスクを取る = 収穫の喜び

1. 風を警戒しては種が蒔けない

2. 雨雲を見ては収穫ができない

3. 神のみわざは静かに進行している



すべての苦勞が吹き飛ぶ収穫の喜び

IV. ソロモンがふれなかったこと = 祈ること = 「日の上」のこと

1. ソロモンは祈りの人ではなかった

「祈りは全能者の筋肉を動かす細き神経である」(C・H・スボルジョン)

「主よ」とつけければ、すべて祈りになる(小島兄)

「後ろの戸を閉めて」(神しか言えないこと)

2. 祈りがなければ使徒行伝はない(リスクばかり)

祈りの要素(賛美、告白、感謝、願い、執り成し)

➢ 「父よ、私たちの、天におられる」(Gk マタイ 6:9)

Πάτερ ἡμῶν, ὁ ἐν τοῖς οὐρανοῖς

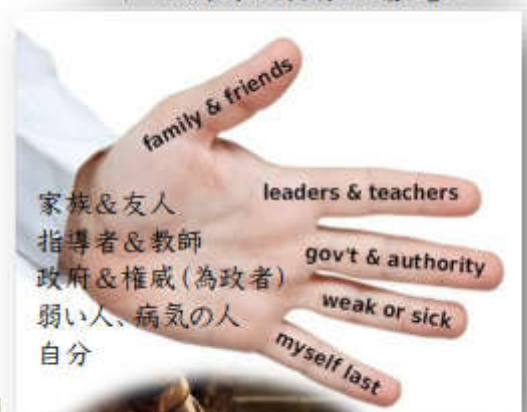
➢ 「旧恩に感謝せずして、新恩に与る能わず」(内村鑑三)

➢ 願いを押しつけるのではなく、神のみこころに自分を合わせる

✓ 主に現状を伝える(「彼らにはぶどう酒がありません」)

✓ 母として× 贖われた者として○

✓ 真摯に従う 「彼が言うことは何でも



伝道が進まない理由

もしかすると、私たちが常識に従って行動するばかりで、クリスチャンではない人とあまり変わらないからではないか。

